

**製品名: NACC1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80923**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	58kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NACC1
別名	NAC1; BEND8; NAC-1; BTBD14B; FLJ37383; NACC1
遺伝子 ID	112939.0
SwissProt ID	Q96RE7
免疫原	大腸菌で発現したヒト NACC1 の精製された組み換え断片。

**背景**

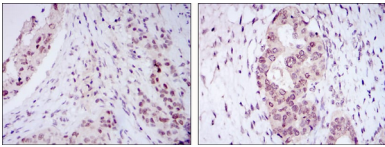
NAC1 または nuclear accumbens-1 は、POZ/BTB (ボックスウイルスおよびジンクフィンガー/ブリック・ア・ブラック・トラムト ラック広域複合体) ドメインファミリーに属する核因子です。BTBD14B としても知られ、報酬動機付けと嗜癮行動を担う独特な神経

前脳構造で最初に同定されました。NAC1 は HDAC3 と HDAC4 をリクルートして神経細胞での遺伝子発現を転写的に抑制し (3)、中枢神経系の他の POZ/BTB タンパク質を特異的に共抑制します。NAC1 は、乳がん、腎細胞がん、肝細胞がん、および高悪性度卵巣漿液性がんなど、いくつかの腫瘍型で上方制御されており、これらのがん種では長い間化学療法抵抗性遺伝子ではないかと疑われてきました。化学療法抵抗性のメカニズムは、NAC1 による GADD45 経路の負の制御を介して起こると報告されています。NAC1 は、Oct-4、Sox2、Nanog、Sall1、KLF4、および Sall4 を含む多能性細胞の拡張転写ネットワークの一部であることも報告されています。組織特異性: 卵巣漿液性癌を含むいくつかの種類で過剰発現しています。発現レベルは卵巣漿液性癌の腫瘍再発と正の相関を示し、原発性卵巣腫瘍における強い免疫反応性は早期再発を予測します。化学療法後の卵巣癌では上方制御が見られ、卵巣癌における化学療法抵抗性の発現に関与していることが示唆されています。

## 研究分野

-

## 画像データ



NACC1 マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ヒト乳がん組織 (左) と卵巣がん組織 (右) の免疫組織化学分析。